

キャラクター名  
卯月ソラ

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス ノイマン		ワークス	探偵	カヴァー	探偵
	ブラックドッグ			年齢	27	性別
オプション	覚醒	感染	衝動	憎悪	初期侵食率	36%
出自	姉妹	経験	喪失	邂逅	家族	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	1	0	0			1	行動値	8
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	8
精神	5	1	0			6	戦闘移動	13
社会	1	0	0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	11		射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転	2		芸術			知識			情報	UGN	3
運転			芸術			知識			情報		
運転			芸術			知識			情報		
運転			芸術			知識			情報		
運転			芸術			知識			情報		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
光剣三刀流 (100↓)	白兵	8r+9	3	23		対象のガード値-15
光剣四刀流 (100↑)	白兵	9r+10	3	33		対象のガード値-20

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	

合計装甲： 0    合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
傍らに立つ影：双頭なる龍 (ウアラク)	P 有為	N 恐怖		
妹を殺したサイボーグ	P 執着	N 憎悪		
涼音>守護天使	P 庇護	N 食傷		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2    残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
C:ウロ	2	2	メジャー					
効果： C値-lv								
マルチウェポン	4	3	メジャー	武器	-	対決		
効果： 二つの武器を合計する (達成値5-lv)								
ヴァリアブルウェポン	1	3	メジャー	武器	-	対決	リミット	
効果： 所持している武器をすべて合計する								
コンバットシステム	1	3	メジャー			対決		
効果： 【白兵】判定ダイスLv+1								
無形の影	1	4	メジャー	-	-	-		
効果： あらゆる判定を【精神】で振れる								
原初の赤：ピンポイントレーザー	1	2+1	メジャー	-	-	対決		
効果： 装甲無視 攻撃力[5-lv]								
ハードワイヤード	4	-	常時	-	-	-		
効果： 《アームブレード》を4本取得								
傍らの影法師	1	-	メジャー	至近	自身			
効果： 傍に現れ立つ								
まだらの紐	1	1	メジャー	視界				
効果： 影を遠くに伸ばし知覚できる								
構造看破	1	-	メジャー	至近		自動		
効果： 機械や構造物を解析								
EF：無音の空間	1	1	メジャー	視界	単体	自動		
効果： 気配を遮断する イージーモードで取得								
影絵芝居	1	-	メジャー	視界	選択	自動		
効果： 影を作り出し、物体を投影する								
暗号解読	1	-	メジャー	至近	自身	自動		
効果： 超絶的な言語センスを得る								

「俺は気になっちゃったら、どうにも見過ごせなくなるみたいだな。助けてやるよ」「切り刻んでやるよ。やれ！ウアラク！！」

UGNイリーガルで探偵をしている27歳男性。  
目つきが悪く、気急そうな雰囲気を感じている、けど世話焼きな人。気に入った相手には尽くすタイプ。  
妹のような涼音（眠れる遺伝子で猫になる）と10年程いっしょに生活している  
後、好きな花はシロツメクサ。四葉のクローバーをよく探していたりする

半年ほど前まではオーヴァードではなかったが、ウロボロスシンドロームに感染。今までは一歩引いていた世界に足を踏み入れることになった  
本体である卯月ソラは影を操るのみで、基本的には《傍らに立つ影》による攻撃が主となる  
その影の名は《双頭なる龍：ウアラク》二頭の龍に乗った悪魔の名前だ  
《双頭なる龍：ウアラク》は全身が機械になっている。2本の腕を分裂させ4本腕とすることができ、レーザーカッターのような剣を4つ振りまわす。

《傍らに立つ影》の容姿はたった一人の妹を殺したヤツのモノであり、今でも憎悪の対象にしている  
そして彼の精神に刻み込まれた恐怖の象徴でもある  
会う機会があれば必ず 殺す

